

2017 アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名 [京都教育大学附属桃山中学校] 担当教諭名 [渡邊 恵子] (国際交流委員会 20名)

相手国・地域 [台湾]

海外学校名 [Tainan Municipal WunSian Elementary School] 担当教諭名 [Chen, Sheng-chi]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	委員会	国際理解	20

■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	平和と交友
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	お互いの文化を発信・受信し、交友を深めよう。
	

■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> 海外の学校とスカイプ(ZOOMを使用)を通じて、リアルタイムでコミュニケーションをとる経験を、生徒にさせることができた。 実際に外国人に何かを伝えるという場面設定ができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 本校のスケジュール上、委員会を母体とすると部活動の合間、昼休み等の短時間でしか生徒を指導する時間が取れず、よりよいコミュニケーション体験にできない。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
<ul style="list-style-type: none"> 台湾文化により興味を持つようになった。 	<ul style="list-style-type: none"> 海外がより身近なものとなっており、生徒にスカイプ等を活用して、実際にコミュニケーションをさせることが可能であると考えさせられた。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
出会い 自己紹介	9月	フォーラムでの自己紹介	自己紹介文のフォーマットに記入するにあたって、躊躇せず記入していた。	委員会
共有 テーマ学習	10月	それぞれの表したいことを共有する。	自分の地域を表す、大切な文化について考えるきっかけとなった。スカイプセッションに興奮した様子であった。	委員会
融合 想いを形に ・メッセージ ・壁画デザイン	11月	文化やアイデアを紹介し合う。	相手の表したいことを考慮しながら、アイデアをまとめていた。	委員会
創造 壁画制作	12月	壁画作成	協力して壁画を作成していた。	委員会
評価 振り返り 自己評価	3月 4月 鑑賞	壁画鑑賞	お互いが描いた壁画を紹介するスカイプセッションでは、感激している様子であった。	委員会

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価（5:とてもついた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった）

学習目標・つきたい力	評価	先生が手応えを感じた場面・理由
自文化を理解する力	4	相手に伝えるために、がんばって調べ学習を行っていた。
異文化を理解する力	3	相手の国に対して、興味をもってスカイプセッションを行った。
情報活用能力 (収集・まとめ・発信)	3	自分なりに調べ学習をおこない、表現を準備できた生徒もいた。
コミュニケーション力 (双方向・共感・英語)	4	相手に伝わるように、工夫してジェスチャーや英語表現を考えていた。
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	2	相手とコミュニケーションをとるのに精一杯で、批判的思考まではたどりつかなかった。
主体的に考え行動する力	3	主体的に考えて行動させるための指導時間をとることができなかった。教員側の落ち度。
他者と協働する力 (学級内・海外の相手)	3	集団として指導する時間はほぼなかったが、個人個人では協働できた生徒がいた。
想いを言葉や形にする力 (メッセージ作成・壁画制作)	3	熱心に壁画作成にとりこんでいた。
評価する力 (作品の鑑賞・学習の自己評価)	3	感想等とはとれていないが、スカイプセッションの際の様子ではよい壁画、体験であると感じている様子である。